

## 再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道45号 <small>おかんよう</small> 尾肝要道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑 <small>しもへいぐんたのばたむら</small>			延長	4.5 km
	至：岩手県下閉伊郡田野畑村集合 <small>すごう</small>				
事業概要					
<p>尾肝要道路は、三陸沿岸北地域で唯一の幹線道路である国道45号において、災害発生危険箇所の回避、高次救急医療施設への速達性・安全性の向上や冬期の安全な交通の確保等を図るとともに、緊急輸送道路の信頼性向上等に大きく寄与するものである。</p>					
H18年度事業化		H1年度都市計画決定 (H1年度変更)		H21年度用地着手	
H21年度工事着手					
全体事業費	105億円	事業進捗率	19%	供用済延長	0 km
地域の防災面の課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現道の国道45号には、防災点検において要対策箇所と判断された箇所が3箇所存在。</li> <li>・周辺に代替え路線がなく、災害等による通行止が発生した場合、迂回に要する時間は通常期の約8倍、距離は約9倍となることから緊急輸送道路としての信頼性に問題。</li> <li>・国道45号で最大標高を通過し急勾配急カーブも連続することから、特に冬期の事故や大型車立ち往生による交通傷害が多数発生。</li> <li>・田野畑村における第三次救急医療への60分カバー率は人口の約18%と低い。</li> <li>・このため、田野畑村の日常生活を営む上で重大な障害及び不安要素となっており、岩手県、田野畑村及び周辺自治体等からも改善の要望も出されているなど地域の喫緊の課題となっている。</li> </ul>					
課題を踏まえた対策・事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災点検要対策箇所、急勾配急カーブの線形不良箇所の解消を図るため、4.5 km区間を別線整備（一部トンネル）。</li> <li>・現道対策では急勾配、急カーブに対する線形改良が困難であることから別線による整備とした。</li> </ul>					
事業の効果等				費用	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 (92億円(残事業=92億円))</li> <li>○災害による被害の回避 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災点検要対策箇所(3箇所)の回避</li> <li>・隘路区間の冬期事故減少 (冬期物損事故率の軽減：338件/億台→5件億台)</li> </ul> </li> <li>○地域住民の不安感の解消 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急輸送道路の信頼性向上(17億円)</li> </ul> </li> </ul>				(残事業)/(事業全体) 86/106 億円 (事業費：75/95 億円 維持管理費：11/11 億円)	
関係する地方公共団体等の意見					
知事の意見： 現計画による早期の完成をお願いする。事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。					
事業評価監視委員会の意見					
対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高規格道路三陸北縦貫道路のうち、中野バイパス(L=6.2km)が開通。</li> <li>・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。</li> </ul>					
事業の進捗状況、残事業の内容等					

平成21年度に工事着手して、用地進捗率100%、事業進捗率19%となっている。  
残事業の内容（尾肝要トンネル L=2.7km 等）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等.....;

用地取得は完了しており、引き続き、早期完成に向けて事業を進める（H25供用予定）

施設の構造や工法の変更等.....;

トンネル残土の運搬距離を短縮、橋梁構造から函渠構造への見直しによるコスト縮減

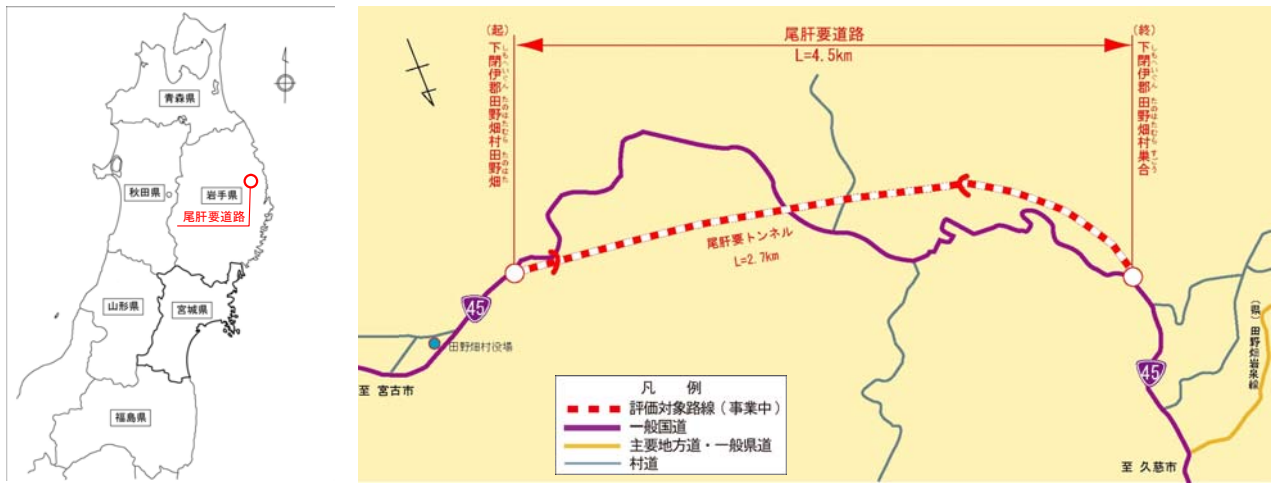
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由.....;

事業の必要性は変化なく、緊急に対策を実施する必要があるため。

事業概要図.....;



- ※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
- ※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。